

【10】児湯郡小体連（学校数 15 校 児童数 3,865 人）

○ 事業部のあゆみ

児湯郡内における児童の体力向上のために、通信水泳記録会（5、6年生児童対象）、通信陸上記録会（6年生児童対象）を実施した。

令和元年度 東児湯小学校通信水泳記録会実施計画案

1 目的

- 各学校の水泳記録会の発表の場を通して、泳力向上の意欲を高めるとともに、他校の泳力の実態を知る。

2 対象

- 東児湯管内の小学校5・6年児童

3 募集記録

- 各学年 男女別 自由形（25m・50m） 平泳ぎ（25m・50m）
男女別 リレー（25m×4名）

4 実施方法

- 基本的に宮崎県小学校体育連盟標準記録認定要領をもとに実施する。

5 応募方法

- (1) 各校の記録をデータでまとめ、集計する。
- (2) 事業部で記録を集約し、結果を報告する。
- (3) 各種目、1位から3位まで表彰する。

令和元年度 東児湯小学校通信陸上記録会実施計画案

1 目的

- 各学校の陸上（50m走・ソフトボール投げ）記録会の発表の場を通して、体力向上の意欲を高めるとともに、他校の運動能力の実態を知る。

2 対象

- 東児湯管内の小学校6年児童

3 募集記録

- 男女ともに50m走とソフトボール投げの記録を測定する。

4 実施方法

(1) 50m走

- 基本的に文部科学省が定めた「新体力テスト実施要項」をもとに実施する。

(2) ソフトボール投げ

- 基本的に文部科学省が定めた「新体力テスト実施要項」をもとに実施する。

- 投球フォームは自由であるが、できるだけ「下手投げ」をしない方がよい。また、ステップして投げた方がよい。

5 応募方法

- (1) 各校の記録をデータでまとめ、集計する。
- (2) 事業部で記録を集約し、結果を報告する。
- (3) 各種目、1位から3位まで表彰する。

○ 研究部のあゆみ

1 研究主題

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習の在り方
～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開～

2 研究の全体構想



3 研究の実際

(1) 「器械運動(跳び箱運動)」の学習指導過程(単元計画、一単位時間の授業展開)

ア 学習指導過程の工夫

高鍋西小学校の小学校体育専科教員の模範授業をもとに、学習指導過程の「はじめ」「なか」「おわり」の各段階で行う指導内容の明確化を図った。

イ 授業構成の工夫

スモールステップで行う授業についても共通理解を図り、授業実践を行った。

4 研究の成果と課題

(1) 成果

- 単元計画や一単位時間における授業の作り方などの学習指導過程を工夫したことで児童にとって充実した学習を考える手掛かりを共有することができた。
- 児童が主体的に運動に参加しながら、話し合い活動を通して運動の行い方を工夫するなど、楽しく意欲的に活動に参加できるようになり、目指す児童像の姿につながった。

(2) 課題

- 児童がより「主体的・対話的」に学習に取り組み、「深い学び」を得ることができる学びの場の工夫やワークシートの工夫などを検討していく必要がある。
- コロナ禍の中でも行えるような授業の在り方についても各自が行っている実践を共有し、共通理解を図っていく必要がある。